

公益財団法人日本郵趣協会
2020年度事業報告（2020年4月1日～2021年3月31日）

【事業活動の総括】

公益財団法人日本郵趣協会は、2020年度も引き続き定款に定める目的の実現を目指して、「郵趣」を広く社会一般に普及すべく公益事業を推進してきた。

事業計画の「基本となる考え方」で指摘した「社会一般の郵便離れが加速、切手に対する関心を持たない人たちが増加し続けている」傾向は、依然として厳しい状況が続いている。

2020年、日本郵趣協会は「3F」のスローガンを掲げて「百年起業」を目指した。すなわち、

1. For the philatelic member 「郵趣仲間のために何ができるかみんなで考えよう」
2. For the philatelic world 「郵趣界のために何ができるかみんなで考えよう」
3. For the philatelic future 「郵趣界の未来のために何ができるかみんなで考えよう」

である。

この3Fのスローガンのもと、郵趣家が目の前の「現世利益」のみを追い求めるのではなく、強い絆で幅広く様々な分野・方法で郵趣の発展に取り組むという決意のもと、役員、各委員会、各地方本部が情報共有して各事業に取り組んだ。

2020年度の当初から新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、予定した多くの事業が延期や中止にせざるを得なかった。一方で、感染防止対策を講じるとともに会員およびパートナーサポート企業・団体の理解と支援を受けて、郵趣界の活動を止めないことを第一に、郵趣界のリーダーとしての役割を果たした。

「会員力の増強」「財政の安定」「よりよいイベント」という3つの柱を実現させるため、春と秋の入会キャンペーン、会費の口座登録キャンペーンを力強く展開した。また地方では展覧会の多くが延期・中止となったが、スタンプショウは夏に延期開催、JAPEXは予定通りに開催実施して、郵趣界の灯を消さぬように努めた。

出版事業では、バイリンガルの『ビジュアル日専 小判・菊切手編』の刊行を通じて広く海外郵趣家の取り込みを目指した。『郵趣研究』は内容の充実と購読料の支払方法としてクレジットカード決済を強化して、さらなる購読者拡大を図った。

学術調査・研究事業では、研究会委員会を中心に各研究会は周年記念誌の発行や次代への継承に努め、流通促進事業では、公開入札をメールオークションに変更しながら、郵趣品の流通が停滞しないように努めて開催した。

「日本国際切手展2021」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オフライン・オンラインを組み合わせたハイブリット形式に変更するとともに、世界の65の国と地域からの出品を募り、実施計画の策定をリードした。

これらの事業に加えて、顕彰、社会貢献・地域支援の各事業、登録支部・団体への助成も積極的に展開した。地方における活動は、各地方本部長の指示のもと各登録支部・団体が効果的な事業を推進した。

2020年度は1年間を通じて新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け続け、2021年度にもその影響はいまだ影を落としている。当協会は郵趣界の責任ある立場として、業界の新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを策定するとともに、新たな郵趣スタイルの提供に引き続き取り組んでいく所存である。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出した。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施した。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」(郵政記念日の4月20日から1週間)に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を191カ所(前年度401カ所)で開催した。実施テーマにあたっては、地域特性を活かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努めた。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

登録支部・団体及びパートナー・サポート企業・団体との協働・連携の下、全国規模の展覧会への来場者促進キャンペーンを実施した。キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図った。

①スタンプショウ2020来場者促進キャンペーン

2020年2月1日(土)～4月19日(日)を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大により、スタンプショウ2020を開催延期としたため、実施しなかった。

②JAPEX2020来場者促進キャンペーン

実施期間:2020年9月1日(火)～11月8日(日)、キャンペーンはがき:配布枚数250枚、回収枚数:46枚(同18.4%)

③スタンプショウ2021来場者促進キャンペーン

実施期間:2021年3月22日(月)～4月24日(土)、キャンペーンはがき:配布枚数200枚、回収枚数:25枚(同12.5%)

※新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言発出により期間、配布先を短縮、限定して実施

(3) 郵趣入門ガイド

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイドとして、「郵趣スタートガイド」「郵趣リーフ作成ガイド」「日本切手で始めるスタートガイド」「知って得する切手入手ガイド」(4種類)の2020年版の制作、「やさしい郵趣用語集」の新規制作を行い、全国規模の展覧会、地方本部主催の展覧会等において普及啓発活動を展開した。

(4) 切手ワークショップ

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる切手ワークショップ(入門コース、作品コース)、及び小学生児童を対象とした「楽しい切手ワークショップ」の計画をしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、予定した開催ができなかった。

①切手ワークショップ(入門コース・作品コース)

広く一般を対象にして、全6回、入門コース・作品コースを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大により、開催は3回に終わった。

[6月度] 内容:切手など郵趣品の話、予定日:6月20日(土)、[中止]

[9月度] 内容:切手など郵趣品の集め方と整理の仕方、開催日:9月26日(土)、参加者:6名

[11月度] 内容:マイリーフ作成ガイド、開催日:11月28日(土)、参加者:4名

[1月度] 内容:マイリーフ作成、予定日:2021年1月23日(土)、[中止]

[3月度] 内容：アルバムリーフ作成、予定日：2021年3月20日(土)、[中止]

[4月度] 内容：アルバムリーフの展示のみ実施、開催日：2021年4月23日(金)、24日(土)

②楽しい切手ワークショップ

小学生児童を対象にして、郵便切手に関する基礎知識から実際に切手を見て触れてみる体験を通して、郵便切手への興味から趣味へ進める場として学んでもらう計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大により開催できなかった。

[第1回] 内容：「体験！切手はり絵、世界の切手でお作り、使用済み切手つかみ取り、開催予定日：4月17日(金)～19日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、[中止]

[第2回] 内容：自由研究の作品鑑賞、ぽすくまにお手紙を書こう！、開催予定日：8月23日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)、[中止]

[第3回] 内容：年賀状やクリスマスカードの書き方、開催予定日：12月5日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)、[中止]

(5) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な出版物を広く全国の公立図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが郵便切手文化の学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の発展に寄与した。

・『テーマ別切手カタログVol.1～Vol.6』：31部

(6) WEBサイト及びSNSの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報をホームページに適時掲載し、広く社会一般に公開、提供した。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努めた。さらに、公式フェイスブック、公式ツイッター等のSNSを活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図った。

ホームページ総セッション：1,243千件(前年対比109%)、ツイッター総インプレッション：43,026千件(同71%)、フェイスブック・いいね！：6,311名(同102%)、ツイッター・フォロワー：65,037(同109%)、LINE有効友だち：656名(同102%)。

(7) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため全国郵趣大会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

①全国郵趣大会2020in山口(第38回)

会期：9月12日(土)・13日(日)、会場：湯田温泉ホテルニュータナカ(山口市)、[中止]

②全国郵趣大会2021in横浜(第39回)&創立75周年記念パーティ[準備作業]

会期：2021年8月28日(土)、会場：パシフィコ横浜アネックスホール他(横浜市)、協賛：日本郵便(株)、企画運営：関東地方本部、創立75周年事業委員会

(8) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の開催を中止とした。

①防府切手のつどい2020春

会期：4月5日(日)、会場：デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、[中止]

②福山切手のつどい2020

- 会期:4月26日(日)、会場:まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、[中止]
- ③新潟県郵趣の集い2020in三条(第26回)
会期:6月7日(日)、会場:三条商工会議所会館(新潟県三条市)、[中止]
- ④静岡県郵趣の集い2020in沼津
会期:6月27日(土)・28日(日)、会場:ホテルエルムエージェンシー(静岡県駿東郡)、[中止]
- ⑤岡山切手のつどい2020夏
会期:6月28日(日)、会場:岡山国際交流センター(岡山市)、[中止]
- ⑥防府切手のつどい2020夏
会期:8月30日(日)、会場:デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、[中止]
- ⑦筑後地方切手のつどい2020(第22回)
会期:8月30日(日)、会場:小郡市生涯学習センター(福岡県小郡市)、参加者:34名(同53名)、主催:九州・沖縄地方本部、小郡支部
- ⑧関西郵趣家のつどい2020・切手だいすき集まれ!
会期:11月27日(土)・28日(日)、会場:エディオンアリーナ大阪[大阪府立体育会館](大阪市)、参加者:220名(同275名)、主催:関西地方本部
- ⑨防府切手のつどい2020冬
会期:11月29日(日)、会場:デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、参加者:51名(同63名)、主催:中国・四国地方本部、防府支部
- ⑩北九州切手のつどい2021
会期:2021年2月14日(土)、会場:アジア太平洋インポートマート[AIMビル](福岡県北九州市)、[中止]
- ⑪広島切手のつどい2021
会期:2021年2月28日(土)、会場:ホテルチューリッヒ東方2001(広島市)、[中止]

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。郵便切手文化の独自性と継承性を確立することで出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図った。また、積極的にパートナー・サポート企業・団体との協働プロジェクトを推進し、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応えた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の開催を中止とした。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり スタンプショウ2020(第44回)

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展」、「切手にみる食の世界」の開催、フリースタイル切手展2020、第21回トピカル切手展の作品の公募を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期及び内容を変更、縮小して開催した。

会期:7月31日(金)・8月1日(土)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、来場者:550名(前年度28,000名。競争出品:(1)フリースタイル切手展2020:21作品(同41作品)、(2)第21回トピカル切手展:25作品80フレーム(同29作品86フレーム)。切手商ブース:16店20.5ブース(同29店43ブース)。

②世界切手まつり スタンプショウ2021(第45回)[準備作業]

広く一般の方々に郵便切手文化を身近なものとして楽しんでもらえるように開催テーマを設定し、企画展示及び企画イベントの実施計画について運営準備を進める。また、協力いただけるパートナー・サポート企業・団体の協賛を募った。

企画展示「スポーツ切手大集合!」、「風景印90年」の準備作業、会期：2021年4月23日(金)～4月25日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、協賛：日本郵便(株)他、協力：切手の博物館、郵政博物館

③第55回全国切手展(略称:JAPEX2020)

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「新昭和切手75年」、「台湾切手展」、特別出品「ベートーヴェン生誕250周年記念切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟(FIP)主催の国際切手展への出品資格が付与された。併せて、公式ガイドブック、記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

開催テーマ:「令和の時代も郵趣と共に」、会期:11月6日(金)～11月8日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者:2,400名(前年度4,300名)、後援:外務省、ドイツ連邦共和国大使館、(公財)日本台湾交流協会、ベートーヴェンハウス ボン、東京新聞、協賛:日本郵便(株)、(株)伊藤園、(株)日本郵趣出版、協力:(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合

招待出品:1作品8フレーム、企画出品:(1)「新昭和切手75年」4作品18フレーム、(2)「台湾切手展」:4作品13フレーム、競争出品:104作品330フレーム(同119作品362フレーム)。外国郵政ブース:4カ国(エストニア、カナダ、中国、ポルトガル)、切手商ブース:21店27.5ブース(同30店39.5ブース)。

④第56回全国切手展(略称:JAPEX2021) [準備作業]

郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させるため、企画出品及び文化シンポジウムの実施計画について運営準備を進めた。

開催テーマ:「郵便創業150年、郵趣の楽しみいつまでも」、招待出品:「日本国際切手展2021凱旋展(仮称)」の準備作業、会期:2021年11月5日(金)～11月7日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、協賛:日本郵便(株)他、協力:(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合[いずれも予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2020(第11回)

会期:4月18日(土)・19日(日)、会場:市民交流プラザIKODE瓦町(香川県高松市)、[中止]

②スタンプショウ横浜2020(第11回)

会期:5月4日(月・祝)～5月10日(日)、会場:新聞博物館(横浜市)、[中止]

③スタンプショウくだまつ2020

会期:6月20日(土)・21日(日)、会場:スターピアくだまつ[下松市文化健康センター](山口県下松市)、[中止]

④大阪切手まつり2020(第22回)&関西スタンプショウ2020(第33回)

会期:7月4日(土)・5日(日)、会場:大阪駅前第3ビル(大阪市)、来場者:260名(前年度880名)、切手商ブース:8店8ブース(同8店8ブース)、主催:関西地方本部。

⑤スタンプショウふくやま2020(第41回)

会期:8月22日(土)・23日(日)、会場:まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、[中止]

⑥彩PEX2020(第21回)

会期：9月20日(日)、会場：ウェスタ川越、来場者：50名(前年度200名)、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉新聞、埼玉県郵趣連合。

⑦スタンプショウかごしま2020(第23回)

会期：9月26日(土)・27日(日)、会場：サンプラザ天文館(鹿児島市)、[中止]

⑧大阪秋の切手展2020(第8回)

会期：10月10日(土)・11日(日)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、来場者：250名(同280名)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社。

⑨スタンプショウはかた2020(第31回)

会期：10月17日(土)・18日(日)、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、来場者：180名(同240名)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社。特別展示：中国切手、企画イベント：収集相談。

⑩中部スタンプショウ2020in富山(第19回)

会期：10月31日(土)・11月1日(日)、会場：グランテラス富山(富山市)、来場者：220名(同200名)、主催：中部地方本部、富山支部、後援：日本郵便(株)北陸支社。記念講演会：「最近の郵趣界と郵政事情」

⑪関西スタンプショウ2021(第34回)

会期：2021年3月13日(土)・14日(日)、会場：大阪駅前第3ビル(大阪市)、[中止]

⑫スタンプショウ=ヒロシマ2020(第37回)

会期：2021年3月13日(土)・14日(日) [6月13日(土)・14日(日)を延期]、会場：広島県立産業会館(広島市)、[中止]

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、あらゆる機会を活用した周知活動を行うとともに、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後に出品者への助言の機会を設けた。

①フリースタイル切手展、トピカル切手展の応募要項を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

②「JAPEX2020ルールブック」(JAPEX2020開催概要、JAPEX2020特別規則、JAPEX一般規則、JAPEX審査基準、JAPEX出品に関するQ&A等)を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

当協会事務局での対面及び通信添削において、作品コンサルティングを実施した。JAPEX新規出品者：12名(前年度11名)、出品コンサルティング利用者：10名(同8名)。

④審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

実施日：11月7日(土)、会場：第55回全国切手展JAPEX2020[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、参加者：13名(同25名)。

⑤応募作品のデータベース化

直近10年間のJAPEX出品者の入賞記録をデータベース化し、全国切手展の審査において活用した。

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内審査員の育成を図った。また、11月7日(土)に国際切手展郵趣セミナー『イントロダクトリーページとシノプシス』を開催し、世界の展覧会の潮流と審査の状況を審査員及び国際展出品有資格者と共有した。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 書籍及び研究報告書

①郵趣モノグラフ

A.「第1次国立公園図案切手収集の新展開」(4月15日刊行)

B.「製造面から見た書状10円期の記念特殊切手」(11月15日刊行)

②JAPEX2020記念出版『台湾の日本時代50年史』(2021年2月20日刊行)

③創立75周年記念出版『戦後の日本郵趣史』[刊行準備作業]

④研究報告書

(2) 定期刊行物

①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行

②週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行

③郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行

④WEB版『世界新切手ニュース』月刊/12回配信

⑤WEB版『郵趣ウィークリー』週刊/50回配信

⑥WEB版『郵趣研究』隔月刊/6回配信

(3) 切手カタログ

①『さくら日本切手カタログ2021』(4月20日刊行)

②『テーマ別切手カタログVol.6 スポーツ編』(7月10日刊行)

③『ビジュアル日専 小判・菊切手編』(10月20日刊行)

④『新中国切手カタログ2021』(12月25日刊行)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会<ミニペックス>、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催し、広く一般に知的情報の公開・周知を図った。

(1) 研究会

専門分野別に研究会を設置して学術調査研究の充実・発展を図るとともに、未分野の研究会設置を促進し、新たに医学切手研究会(4月1日付)を発足した。また、全国規模の展覧会においては、誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、各研究会の活動事例紹介を実施した。

①第55回全国切手展 JAPEX2020

会期:11月6日(金)~11月8日(日)、切手の集い:3研究会、延べ参加者:19名。

(2) 研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の開催を中止した。

①昆虫切手研究会創立50周年記念 第35回昆虫切手展

会期:6月6日(土)・7日(日)、研究発表:昆虫切手研究会、[中止]

②第11回世界の植物切手展

会期：6月19日(金)～6月21日(日)、研究発表：植物切手研究会、[中止]

③イギリス切手研究会切手展2020

会期：6月27日(土)・28日(日)、研究発表：イギリス切手研究会、[中止]

④アメリカ切手展2020 america'20

会期：7月3日(金)～5日(日)、研究発表：アメリカ郵趣研究会、[中止]

⑤第18回絵画切手展

会期：7月18日(土)・19日(日)、研究発表：絵画切手研究会、[中止]

⑥日本の国際ロータリー加盟100周年記念切手展

会期：9月17日(木)・18日(金)、来場者：130名、研究発表：ロータリー切手研究会

⑦JPS航空郵趣研究会展2020—飛行機の消印—

会期：9月19日(土)・20日(日)、来場者：240名(前回270名)、研究発表：航空郵趣研究会

⑧ベートーヴェン生誕250周年記念音楽切手展

会期：9月26日(土)・27日(土)、来場者：280名(同70名)、研究発表：音楽切手研究会

⑨第17回震災切手と震災郵趣展

会期：10月2日(金)～10月4日(日)、来場者：110名(同150名)、研究発表：震災郵趣研究会

⑩鉄道の日記念鉄道切手展 Railpex2020

会期：10月14日(水)～10月17日(土)、来場者：200名(同460名)、研究発表：鉄道郵趣研究会

⑪メータースタンプ研究会展2020

会期：11月14日(土)～11月15日(日)、来場者：80名(同330名)、研究発表：メータースタンプ研究会

⑫第6回東郵趣サロン 楽しい切手展

会期：2021年1月29日(金)～1月31日(日)、研究発表：関東郵趣サロン研究会、[中止]

⑬第12回テーマティック研究会切手展

会期：2021年2月13日(土)～28日(日)、オンライン開催(同270名)、研究発表：テーマティック研究会

⑭パソコン郵趣切手展2021

会期：2021年3月6日(土)・7日(日)、研究発表：パソコン郵趣研究会、[中止]

⑮第13回聴覚障害者切手研究会切手展

会期：2021年3月13日(土)・14日(日)、研究発表：聴覚障害者切手研究会、[中止]

⑯菊・田沢MINIPEX2021

会期：2021年3月19日(金)～3月21日(日)、研究発表：菊・田沢切手研究会、[中止]

(3) 研究公開

郵便切手文化に関する研究事例、実践事例等の専門的知識・知見を幅広く共有するため、各専門研究会会報にとどまらず全国専門誌、ホームページ等において公開発表した。

①『郵趣研究』における研究公開

「那覇1888年発外信便」「第3次昭和20銭、30銭及び50銭の初期使用例」「連合はがきの切手加貼使用例」「テーマティック郵趣の MATERIAL 選択再考」など多くの研究論文を公開した。

②ホームページにおける研究公開「私の切手アルバム」

毎月バラエティに富んだ切手コレクション1作品を協会ホームページに掲載し、広く一般に専門収集の実践例を紹介した。

(4) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、この知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くが中止となった。

①イギリス切手の郵趣先進学術事例

会期：6月28日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、[中止]

②震災切手の郵趣先進学術事例

会期：10月4日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、[中止]

③「日本国際切手展2021公開カンファレンス・イントロダクトリーページとシノプシス」、発表：佐藤浩一氏、MC：榎沢祐一氏、聴講者40名、会場：東京都立産業貿易センター・台東館(台東区)

④テーマティック収集の郵趣先進学術事例

会期：2021年2月14日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、[中止]

⑤菊・田沢切手の郵趣先進学術事例

会期：2021年3月21日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)、[中止]

(4) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の開催を中止した。

①会期：4月17日(金)～4月19日(日)、会場：スタンプショウ2020/東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。[会期を7月31日(金)～8月1日(土)の2日間に短縮し、文化シンポジウムは実施しなかった]

- A. 研究発表「植物切手・図案別収集の展開」、講師：石田徹氏(植物切手研究会)、[中止]
- B. 研究発表「レイアウトで選べるパソコンリーフ」、講師：江村清氏(パソコン郵趣研究会)、[中止]
- C. 講演会「第1次国立公園図案切手収集の新展開」、講師：池田駿介氏、[中止]
- D. 講演会「日本普通切手収集ガイドブック『さくら』から『普専へ』」、講師：濱谷彰彦氏、[中止]
- E. 講演会「風景印&小型印と郵頼方法～郵趣のための押印サービス～」、講師：富澤昇吉氏、[中止]
- F. 講演会「テーマ別日本切手カタログVol.6スポーツ編・秘話」、講師：田中敏彦氏、[中止]
- G. トークショー「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会切手」、ゲスト：玉木明氏、[中止]
- H. トークショー「おいしいにつぼんシリーズ切手」、ゲスト：吉川亜有美氏、林智恵子氏、[中止]
- I. トークショー「第8回FKD48総選挙応援演説」、ゲスト：古沢保氏、[中止]

②会期：9月12日(土)、会場：全国郵趣大会2020in山口/湯田温泉・ホテルニュータナカ(山口市)、[中止]

③会期：11月6日(金)～11月8日(日)、会場：第55回全国切手展/東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

- A. 研究発表「第9交響曲に寄す An die 9te Symphonie」、講師：中館輝厚・音楽切手研究会代表、聴講者25名。
- B. 講演会「書状10円時代の記念特殊切手は製造面も楽しめる」、講師：永吉秀夫氏、聴講者20名。
- C. 講演会「日本統治時代の台湾」、講師：玉木淳一氏、聴講者15名。
- D. 講演会「日本国際切手展2021 イントロダクトリーページとシノプシス」、講師：佐藤浩一氏、MC：榎沢祐一氏、聴講者40名。
- E. パネルディスカッション「カラー&バイリンガルの専門切手カタログ『ビジュアル日専』を語る」、パネラー：山口充氏、山田廉一氏、ゲスト：ミヒヤエル・シュタイン氏、MC：稲葉良一氏、聴講者15名。
- F. トークショー「日本国際切手展2021切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー、[中止]
- G. トークショー「音楽切手の世界」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー、[中止]
- H. トークショー「風景印の歴史と楽しみ方～風景印の90年～」、ゲスト：古沢保氏、[中止]

④会期：12月20日(日)、会場：切手の博物館のクリスマス／切手の博物館(豊島区)。

A.トークショー「冬のグリーティング切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー、[中止]

(5) 展覧会助成

郵趣分野における研究の発展並びに普及啓発の観点から、社会的要請及び将来の発展が期待できる研究課題の発表・公開に対して展覧会助成を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため多数が中止された。[会場はいずれも切手の博物館]

①第4回映画・演劇人の手紙展

会期：4月24日(金)～4月26日(日)、主催：玉木淳一氏、[中止]

②第3回「魚木式郵趣」展

会期：5月1日(金)～5月3日(日)、主催：魚木五夫氏、[中止]

③稲門フィラテリー20周年記念切手展

会期：10月23日(金)～10月25日(日)、主催：稲門フィラテリー、[中止]

④第5回切手フェスタ

会期：10月30日(金)～11月1日(日)、主催：切手フェスタ実行委員会、[中止]

⑤ブラボー！はやぶさ2★宇宙郵趣会COSMOPEX2020

会期：11月27日(金)～11月29日(日)、来場者：170名、主催：宇宙郵趣会コスモス(登録支部・団体)

⑥第16回中国郵票展

会期：2021年1月23日(土)・24日(日)、主催：福井和雄氏、[中止]

⑦なでしこ切手倶楽部展2021

会期：2021年2月5日(金)～2月7日(日)、来場者：180名、主催：なでしこ切手倶楽部

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進した。

(1) 各国外交機関及び各国郵政機関との協働による国際文化交流

各国外交機関による周年記念事業認定のもと、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努めた。

①「ベートーヴェン生誕250周年記念切手展」(Stamp Exhibition to Commemorate the 250th Anniversary of Ludwig van Beethoven's Birth)

会期：11月6日(金)～11月8日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、ドイツ連邦共和国大使館、ベートーヴェンハウス ボン、協賛：日本郵便(株)。切手コレクション展示9作品28フレーム、肖像画、自筆総譜などの資料展示。

②「台湾切手展」(Taiwan Stamp Exhibition)

会期：11月6日(金)～11月8日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、(公財)日本台湾交流協会、協賛：日本郵便(株)。切手コレクション展示4作品13フレーム。

(2) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究推進を計画したが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。

①国際切手展LONDON2020への文献出品、視察、研究発表

会期：5月2日(土)～5月9日(土)、会場：ビジネス・デザイン・センター(イギリス・ロンドン)、[2022

年2月19日(土)～2月26日(土)に延期]

②国際切手展INDONESIA2020への文献出品、視察、FIP総会、研究発表

会期：8月6日(木)～8月11日(火)、会場：インドネシア議会ビル(インドネシア・ジャカルタ)、[2022年8月4日(木)～8月9日(火)に延期]

③アジア国際切手展TAIPEI2020への文献出品、視察、研究発表

会期：10月23日(金)～10月27日(火)、会場：台北世界貿易センター1号館(台湾・台北) [2022年5月6日(金)～5月10日(火)に延期]

(3) 日本国際切手展2021

郵便切手類と郵便制度の世界的先進学術事例を広く公開するとともに、日本の郵便制度150周年を契機に郵便切手文化のより一層の普及・拡大を図るため、「日本国際切手展2021」をアジア国際切手展として開催する。その成功に向けて、共催団体及びパートナー企業・団体と協働して、実施計画の策定・推進にあたった。

名称：日本国際切手展2021 (PHILANIPPON 2021)

開催テーマ：「郵便150年 新たな可能性へ」、会期：2021年8月25日(水)～8月30日(月)、会場：パシフィコ横浜/展示ホールB・C(横浜市)、入場料：無料、主催：日本郵便(株)、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合との共催、後援：総務省、外務省、文部科学省、観光庁、神奈川県、横浜市、神奈川新聞社、tvk、FMヨコハマ、(一社)横浜青年会議所、日本郵便切手商組合、国際郵趣連盟(FIP)、賛助：アジア郵趣連盟(FIAP)、運営：日本国際切手展2021組織委員会

(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツの祭典だけでなく文化の祭典でもある。東京2020大会を通じて郵便切手類が持つ文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展」を大阪市(2020年7月)で開催した。[東京都台東区(2020年4月)、横浜市(同年5月)、広島市(同年6月)の3カ所は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期及び中止とした]。また、東京2020大会をレガシーとして未来に継承するため、東京2020大会に関する郵便切手類の保存・記録に取り組んだ。

※東京2020応援プログラム[認証事業]

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するためにさまざまな対策をとり、郵便事業に対する信頼を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努めた。

(2) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図った。

①第527回 締切日：4月21日(火)、メールオークション(公開入札から変更)

②第528回 締切日：7月7日(火)、メールオークション(公開入札から変更)

③第529回 締切日：9月15日(火)、メールオークション

④第530回 開催日：11月7日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

- ⑤第531回&532回 締切日：2021年2月9日(火)、メールオークション(公開入札から変更)
出品総数:7,630ロット(前年度8,295ロット)、落札総高:47,768千円(同62,272千円)。

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第41回中島健蔵・水原明窓記念賞

中島健蔵・水原明窓記念賞選考委員会(委員長:池原郁夫、委員:魚木五夫、大沼幸雄、落合宙一、佐々木義郎、福井和雄、山口充)を設置し、6月27日(土)に選考委員会を開催、受賞者に永井正保氏を決定した。

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長:池原郁夫、委員:落合宙一、正田幸弘、玉木淳一)を設置し、6月6日(土)に選考委員会を開催、国際大賞に準ずる国際賞の受賞者に、アメリカ在住のアーサー L-F.アスキズ氏を決定した。

③第40回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の選考委員会を設置し、次の通り決定した。

A. 個人部門:立川賢一氏、藤原和正氏、山田邦博氏、藤波誠治氏の4名

B. 団体部門:植物切手研究会、とつくに会

④第40回郵趣文献賞

同上の選考委員会を設置し、受賞文献に次の1文献を決定した。

「Joint Issue 2か国以上共同発行切手」(小谷野猪之助著)

⑤第37回小倉謙賞

第55回全国切手展JAPEX2020審査委員会の審査員で選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、10月25日(日)に選考委員会を開催し、該当作品なしと決定した。

⑥第35回住野正顕賞

第55回全国切手展JAPEX2020審査委員会の審査員で選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、10月25日(日)に選考委員会を開催し、受賞者に安藤裕氏「Great Britain One Penny Black 1840-1841」を決定した。

⑦登録支部・団体50周年特別表彰

特別表彰の選考にあたり、5月30日(土)に事業執行会議(議長:池原郁夫)を開催し、2020年度の表彰に富山支部、名古屋支部、新潟郵趣会の3団体を決定した。

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開した。

①第41回中島健蔵・水原明窓記念賞は、第55回全国切手展JAPEX2020において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。あわせて受賞記念講演を実施した。

②国際賞、第40回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第55回全国切手展JAPEX2020において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

③第35回住野正顕賞は、第55回全国切手展JAPEX2020において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

④登録支部・団体50周年特別表彰は、第55回全国切手展JAPEX2020において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに「新しい公共」の担い手としての役割を推進するため、パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2020」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指していくため、日本郵便(株)をはじめとした多様なパートナー・サポート企業・団体の協賛を得て実施した。

①ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2020(第9回)

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門、風景印部門)の公募を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止とした。

発表会:8月23日(金)～8月25日(日)、会場:目白・椿ホール(豊島区)。[中止]

②タイムカプセル郵便

手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、その時代の文化を未来にレガシーとして継承するため、メッセージとなる記録を手紙というツールを通じて、最大10年先まで保管して郵便として届けた。また、日本郵便(株)をはじめとした個人の利用に加え、企業や行政の記念事業として利用拡大を図るとともに、日本郵便(株)をはじめとしたパートナー・サポート企業・団体と協働して普及を図った。

募集期間:4月1日(水)～2021年3月31日(水)[通年]、引受通数:24,045通(同10,052通)、協賛:日本郵便(株)、(一財)水原フィラテリー財団、リソー教育グループ。

※東京2020応援プログラム認証事業、日本郵政(株)の商標登録の使用許諾事業

③Otegamiフリマ

フリーマーケット形式のイベントとして広く郵便切手雑貨関連のブース出展を募り、郵便切手文化の魅力を再発見してもらうため、お手紙コーナー及びデコレーションポストの設置、郵便局臨時出張所による記念押印サービス等を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。

A. Otegamiフリマ2020 SUMMERコレクション 会期:5月22日(金)・23日(土)、[中止]

B. Otegamiフリマ2020 AUTUMNコレクション 会期:8月2日(金)・22日(土)、[中止]

※ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2020とのジョイント開催を計画

C. Otegamiフリマ2020 WINTERコレクション 会期:11月20日(金)・21日(土)、[中止]

D. Otegamiフリマ2021 SPRINGコレクション 会期:2021年2月20日(金)・21日(土)、[中止]

会場:A. C. D. は切手の博物館(豊島区)、B. は目白・椿ホール(豊島区)、共催:(一財)水原フィラテリー財団、協賛:日本郵便(株)、リソー教育グループ。

④手紙ワークショップ

手紙が本来持っている「想いを伝える力」や新たな手紙コミュニケーションの魅力を再発見してもらうため、手紙を書いて、宛名を書き、切手を貼り、郵便局臨時出張所で小型印等の記念押印をしてもらい、郵便ポストに投函するという一連の流れを体験してもらう手紙ワークショップを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。

A. 楽しいオリジナル記念品作り

会期：4月17日(金)～4月19日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、[中止]

B. ぽすくまにお手紙を書こう！[ぽすくまからのお礼の手紙の実施]、[中止]

会期：8月21日(金)～8月23日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)

C. クリスマスdeお手紙[切手デザイナーによるオリジナル・クリスマスカードの制作・頒布]

会期：12月4日(金)～12月25日(金)、会場：切手の博物館(豊島区)、[中止]

協賛：日本郵便(株)、(一財)水原フィラテリー財団、リソー教育グループ、参加者：600名。

(2) 登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体制度を活用して連携・強化を図り、各地域における自主的活動や特性を発揮しながら効果的な事業が推進できるように支援を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため直接指導を行うプログラムについては、実施できなかった。

① 地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

登録支部・団体が開催した延べ14回の展覧会への助成を行った。

② 郵便切手文化活動への広報協力

『郵趣(YUSHU)』及び協会ホームページにおいて、地域が取り組む郵便切手文化活動の広報に努めた。

(3) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働するプロジェクトを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できない企画が多数あった。

① 日本郵便(株)切手デザイナーとの手紙振興プロジェクト

A. 切手デザイナー・トークショー&サイン会 [中止]

B. 展覧会の審査員

フリースタイル切手展2021の審査員として、玉木明氏を招請した。審査日：2021年3月25日(木)、会場：切手の博物館(豊島区)。

C. 年賀はがき面白情報

年賀はがき、年賀状の差出に関心をもってもらうため、2021年用年賀はがきに関する面白情報の提供を受け、JAPEX2020(台東区)及び切手の博物館(豊島区)において展示・公開した。

② 手紙の書き方体験授業との協働プロジェクト

日本郵便(株)が主催する「手紙の書き方体験授業」参加者に使用済みの外国切手を提供し、手紙を書く楽しさの普及拡大の協働を図った。

③ 青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との周知連携

日本郵便(株)発行の「Letter Park」紙面を利用して、展覧会等の開催周知の連携を図った。

(5) ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めてボランティア活動への市民参画の促進を図るため、体験情報を発信し、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

① 郵趣のための押印講習会(技能認定制度)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた押印講習会が3回のみとなったため、押印に関する専門的な知識を技術が優秀と認められた方への「押印認定書」(1級～3級)を2名に授与した。押印ボランティア登録者：16名、押印認定者：51名。

② 展覧会運営ボランティアの公募

当協会の公式ホームページをはじめ、ボランティア募集を掲載するWEBサイト3社に登録して体験・情報提

供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

A. 11月6日(金)～11月8日(日)開催の第55回全国切手展JAPEX2020に一般ボランティア12名の応募があり、延べ18名が運営ボランティアとして参加した。

(6) 公益活動への支援

様々な主体の参加を通して協働を促進する活動、営利を目的としない自主的・自発的な社会貢献活動である公益活動を担っている団体への支援を行った。

①切手バザール

(一財)水原フィラテリー財団主催の「切手バザール」の開催を支援した。会期:7月10日(土)・11日(日)、9月12日(土)・13日(日)、10月10日(土)・11日(日)、延べ3回、会場:いずれも切手の博物館(豊島区)。

②全日本切手展2020(第70回)

全日本切手展実行委員会、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合共催の全日本切手展2020を後援、会期:7月10日(金)～7月12日(日)、会場:すみだ産業会館(墨田区)、[中止]

③切手の博物館のクリスマス

(一財)水原フィラテリー財団と共催して、「切手の博物館のクリスマス」を開催した。会期:12月6日(日)～12月25日(金)、会場:切手の博物館(豊島区)。

④第23回目白ロードレース

目白ロードレース実行委員会主催の「第23回目白ロードレース」に協賛した。会期:2021年3月8日(日)、会場:学習院キャンパス周辺、[中止]

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協賛していただける企業・団体の募集、幅広く多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形での寄付を募った。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) パートナー・サポート企業・団体の募集

第55回全国切手展JAPEX2020に対して8企業・団体(同12企業・団体)から協賛、協力の支援を得た。

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

募集期間:2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)、協賛件数:2,765件(同2,038件)。

(3) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

募集期間:2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)、協賛者:5名、45,100円(5名、1,915,150円)。

(4) スタンプショウ2020寄附金(特別寄附金)

募集期間:1月4日(土)～8月1日(土)、特別寄附金:16口(1口3万円)、一般寄附金:251口(1口4,000円)、協賛者:220名、1,657千円(同326名、1,987千円)。

(5) JAPEX2020寄附金(特別寄附金)

募集期間:7月1日(水)～11月18日(日)、特別寄附金:28口(1口3万円)、一般寄附金:476口(1口4,000円)、協賛者:413名、2,753千円(同465名、3,063千円)。

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図った。

(1) 会員の維持・拡大

当協会の事業内容の紹介活動を積極的に行うとともに、新規会員獲得に向けたキャンペーン活動を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供した。

①春の入会キャンペーン、秋の入会キャンペーン

A. 春の入会キャンペーン（4月1日～6月30日）

スタンプショウ2020が7月に縮小開催となり「スタンプショウ2020来場者促進&春の入会キャンペーン」が実施できず、ホームページのみでのキャンペーンとなった。入会者：16名。

B. 秋の入会キャンペーン（10月1日～12月25日）

ホームページ及び第55回全国切手展JAPEX2020において、「JAPEX2020来場者促進&秋の入会キャンペーン」を実施した。入会者：28名（うちJAPEX会場での入会3名）。

②地方本部主催の展覧会等における会員増強活動

予定していた地方本部主催の展覧会等が全て中止となり、現地での上位会員への移籍依頼の増強活動（普通会员から正会員、正会員から維持会員への移籍の依頼）が実施できず。移籍者：4名。

③口座振替登録キャンペーン

2020年4月1日（水）～2021年3月31日（水）の1年間を通じて、口座振替登録のキャンペーンを実施。登録者193名（前年115名）。

④『郵趣研究』購読者拡大キャンペーン

クレジットカード利用の新規サービスによる申込促進キャンペーンを2020年3月～7月の5カ月間、実施。新規利用者21名（前年16名）、継続37名。

⑤『正会員会報』月刊／12回発行

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図った。

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2020

会期：2020年1月9日（土）、会場：リュド・ヴィンテージ目白（豊島区）、[中止]。

②大阪・新春交歓会2021

会期：2021年1月11日（月・祝）、会場：ホテルグランヴィア大阪（大阪市）、[中止]。

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2020in山形（第30回）

会期：6月6日（土）・7日（日）、会場：ヒルズサンピア山形（山形市）、主催：北海道・東北地方本部、[中止]

②関東郵趣大会2020in三鷹（第36回）

会期：6月20日（土）、会場：三鷹産業プラザ（東京都三鷹市）、主催：関東地方本部、[中止]

③北海道郵趣大会2020in札幌(第36回)

会期：10月11日(日)・12日(月)、会場：ホテルサンルートニュー札幌(札幌市)、主催：北海道・東北地方本部、[中止]

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現した。発行数:34,432枚、流通数:955枚(流通率2.8%)。

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021年6月

公益財団法人 日本郵趣協会